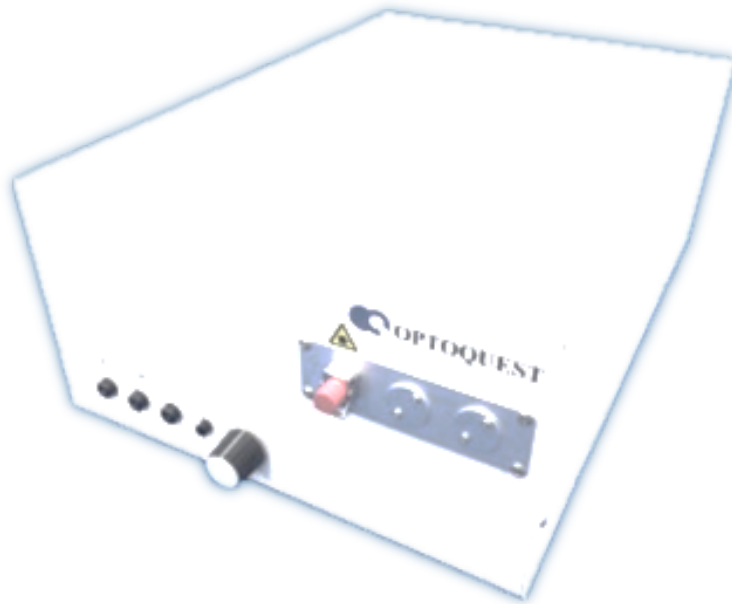




OPTOQUEST

Laser Design and Development



The Next Generation of SC Source is Coming

**これまでの超広帯域光源の概念を超えた
卓越した安定性をお届けします**

これまでの超広帯域光源でお困りではありませんか？



中国製SC光源でお困りのAさん

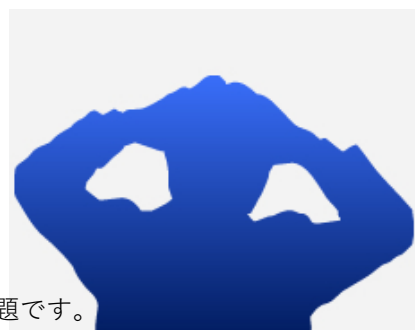
「ファイバデバイスの評価用にX社のSC光源を使ってるんだけど、何故か**波長特性がいつもギザギザして、しかも再現性がない**んだよね。調べてみたら、**数分で光源のスペクトル形状が結構変わってる**。なので、何回も校正をやり直さないといけない。」

(注A) 短パルスを用いた光源だと光スペクトルのリップルが多く、時間的に動きます

海外製SC光源でお困りのBさん

「M社の高級機は手が出なかったので、廉価版を導入したんだけど、**光源の出カパワーがユラユラ。ファイバ結合にすると、もっとひどい**。中身が固体レーザって聞いて、愕然としたよ。スペクトルどころの話じゃない。」

(注B) SC発生の種光源に安価な受動Qスイッチレーザをつかった製品で起こる問題です。確かに、可視から赤外まで広いスペクトルは持ちますが。。。



LED・SLD光源でお困りのCさん

「1.5umのASE光源の代わりにつもりで、多波長LED光源を導入したんだけど、ファイバ出力だと**パワーが全然足りない**。フィルタの測定なんて、**ダイナミックレンジが全然取れない**ので、裾は**ノイズに埋もれてしまっ**て何にも見えない。」

(注C) LED、SLD、ハロゲン光源などでよく見られる問題です。確かに安定なのですが、ファイバへの結合効率が原理的に取れませんので、どうしてもダイナミックレンジが足りなくなります。

オプトクエストの次世代SC光源が
これらのお悩みを解決します！！



オプトクエスト FLA-SC2000は従来にない性能を達成

- ・ 安定なスペクトル形状
- ・ 広く平坦なスペクトル
- ・ 高いスペクトル密度

詳しい性能は
sales-info@optoquest.co.jp
までお問い合わせを！